

**今年度（2022年度）の防災セミナーについて**

昨年に引き続き、今年もリモート(web)とDVDによる防災セミナーを実施すべく計画しています。

昨年度は初めての試みであったためか参加者が少なかったため、今年は多くの方に参加いただける様PRや実施方法を検討中です。

**防災セミナー 今年も開催**

**テーマ：過去の災害から学ぶ**

近年発生した災害（地震、風水害）の教訓や被災者や支援者の体験談を学び、災害に対する危機意識を持っていただくことで防災力を高めるきっかけとしていただきたいと思います。

**実施時期：2022年11月**

**受講形式：二つの形式を予定しています。**

- ①webサイトで各自都合の良い時間に視聴
- ②各自治会ごとに集合してDVDを視聴

**河川の防災・減災対策を紹介します**

**【1】残堀川調節池（東京都建設局HP抜粋）**

残堀川調節池は、残堀川の治水安全度を早期に向上させるために、残堀川中流部において平成25年度から平成29年度にかけて整備した調節池です。

調節池は掘込式であり、洪水時は上流側の取水堰から流入し、河道の水位が低下した際に下流側の排水樋管から河道へ排水します。



**残堀川調節池の位置**

**残堀川調節池諸元**

完成年度	平成29年度
施設形式	掘込式
敷地面積	50,000 m <sup>2</sup>
貯留量	60,000 m <sup>3</sup>
越流堤延長	36.0 m

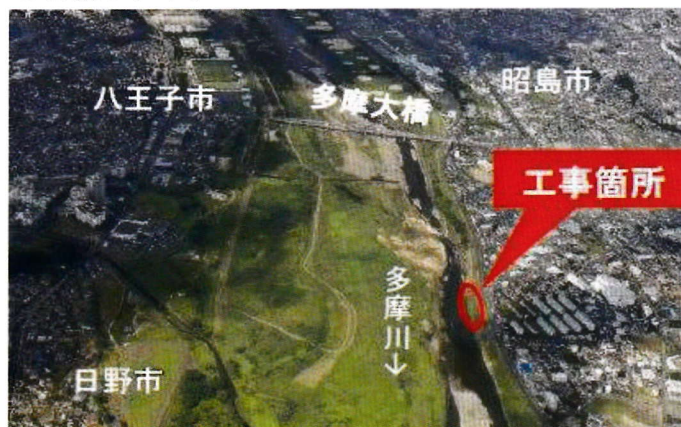
**【2】多摩川左岸郷地低水護岸他工事**

（国土交通省京浜河川事務所HP抜粋）

国土交通省では大雨による河川の増水・氾濫への対策を河川ごとに推進しています。当地区では令和3年度(2021年度)に上記工事が完成しています。

多摩川の増水で堤防が侵食され堤防が決壊すると付近の住宅に激しい水流が押し寄せ、家屋が倒壊する恐れがあります（家屋倒壊等氾濫想定区域）。

今回の工事は堤防を保護するもので堤防の決壊のリスクを低減します。



《ご参考》 表面に掲載した「首都直下地震等による東京の被害想定報告書」のリンクです

<https://www.bousai.metro.tokyo.lg.jp/taisaku/torikumi/1000902/1021571.html>

